



# さくらんぼだより

草笛学園 2024年度 5月号

5月に入り毎日暑い日が続いていますね。園庭の桜も終わりを迎え、新緑の青葉にすがすがしさを感じられるようになりました。新年度がスタートして、早くも一ヶ月。少し疲れが出てくる頃かもしれませんが、楽しいゴールデンウィークが始まりますね！体調管理に注意しながら、今月も楽しんで過ごしていきたいと思います！



## 自分を時間軸のなかでみつめられるようになる

5、6歳ごろになると、子どもたちは時間の流れを理解するようになります。こうした認識ができてくると、これまでは活動の結果で評価すること、すなわち「できた」か「できなかった」かでとらえることが多かった子どもたちが、「ここまでがんばったけど、ここはちょっとむずかしかった」と活動のプロセスをとらえられるようになっていきます。長い目でみた場合、子どもにつけたい力は、狭い意味での「できる」ではなく、自分で考え自分で工夫し、うまくいなくても「どうしてか」と考えたり、自ら相談したりできる力です。そうした力をはぐくむためにも、プロセスを試行錯誤して考えられる活動を用意し、うまくいかないと思っている子どもにも「どうしたの」「どこがむずかしかったの」とゆっくり聞いていくようなことが大切になります。

さらには、時間的認識と結びついて、「前はできなかったけど、できるようになったよ」「前より大きくなったよ」と自分自身についても時間軸のなかでとらえられるようになっていきます。友だちと比べて、「自分はできない」「上手にできない」と自信をなくしがちだった子が、「〇〇ちゃん、ユリ組さんのときよりもずっと上手になったね」「前はすぐ泣いていたのに、ソウ組さんになったら泣かなくなったね」と自分の変化を認められたとき、大きな自信を持つようになります。そのためには、おとなが、他の子と比べて「できる」「できない」とみるのではなく、一人ひとりの子どもの育ちにきちんと目を向けなければなりません。同時に、大きくなった自分、変わってきた自分を実感できる場や経験が大切になります。イチゴをつぶさずへたを取って洗えるようになった、すぐに泣かなくなった、自転車に乗れるようになった…日々の生活の中で、自分の育ちを実感できるといいですね。

変わってきた自分に手ごたえをもてるようになるからこそ、「1年生になったら〇〇したい」「大きくなったら〇〇になりたい」と未来に向かってねがいや夢を育むようになります。

す。学童期とは違って、まだまだ現実味は不十分ですから、“ウルトラマンニナリタイ”といった内容も多いのですが、自分の未来に前向きに思いをもてることを大事にし、一人ひとりが未来へのねがいをはぐくめるようにしたいものです。

参考文献：『シリーズ◎子どもと保育（5歳児）』 秋葉英則・白石恵理子 監修



次回のさくらんぼ教室は…

### さくらんぼ①

6月 13日 (木)

<活動>サーキット

<持ってくるもの>

水筒・シューズ

### さくらんぼ②

6月 27日 (木)

<活動>サーキット

<持ってくるもの>

水筒・シューズ

※保護者の方も動きやすい服装で来て下さい！



### 『参加される皆様へ』 ~ご協力をお願いします~

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡下さい
- ・参加費はおやつ代の100円です。制作や、クッキングの活動の時には材料費として+100円いただきます。その都度お知らせします。おつりのいらぬようご用意下さい
- ・草笛学園遊戯室での活動となります
- ・靴は下駄箱に入れて下さい
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えて下さい）
- ・きょうだい児の参加は、ご遠慮下さい。預け先がない場合は事前に職員までご相談下さい
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切って下さい

### 【感染症対策について】（※国の方針に準じて対策を見直しています）

- ・参加者・職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々の感染状況を見て着用をお願いする場合があります
- ・原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてききましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談ください
- ・入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします。37.5度以上の発熱がある場合は参加をお控え下さい
- ・園内の換気や消毒は引き続き続けます